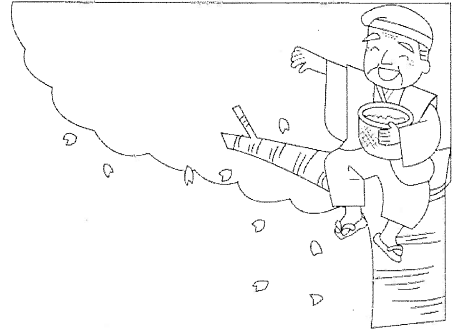


『歴史から学ぶ日台の絆』

東日本大震災に寄せられた台湾の義援金は世界ダントツでした。なぜ彼らはこんなにも親日的なのでしょう。統治時代に台湾で活躍した多くの日本人について学ぶ研修会を開催し、我々はこれからどうあるべきかを考えます。

- 4月1日(日)13:30~16:00(開場13:00)
- 砥部町文化会館 3階 視聴覚室
(089-962-7000)
- 講師:古川勝三先生 元中学校長
- 入場料:1000円(茶菓資料代) 学生無料



初代総督から、2代桂太郎、3代乃木希典の時代は土匪征伐に明け暮れました。4代目児玉源太郎は後藤新平を民政長官に抜擢、近代化を推進しました。後藤は新渡戸稲造を呼び寄せ、糖業政策を確立させました。5代目佐久間左馬太総督の時代には、築港、大森林開発事業に取り組みました。

欧米列強は、日本が最初に手に入れた植民地をどのように統治し開発して行くかに注目していました。政府は国威発揚のためには、失敗の許されない立場にあったのです。それだけに、優秀な人材が必要な島でした。

東京帝大を卒業した八田與一は、明治43年(1910)佐久間総督に時代に、台湾総督府土木部の技術者として台湾に降り立ちました。

八田の偉業に対し、台湾の人々は限りない感謝を持ち続けています。彼は異民族からなぜそんなに尊敬されているのでしょうか。彼にとってダムを作ることが目的ではなかった。ダムは手段であってそこに住んでいる人の幸せを、台湾の農民の幸せを考えていたのです。

《古川勝三先生のプロフィール》

- 1944年 宇和島生まれ
- 1967年 愛媛大学教育学部卒業、以後教職の道を歩まれる
- 1980年 台湾・高雄日本人学校に3年間勤務
- 1990年 愛媛県総合教育センター情報教育研究室勤務
- 1991年 『台湾を愛した日本人～土木技師 八田與一の生涯』で土木学会著作賞受賞
- 1998年 松山市立旭中学校長
- 2000年 松山市立高浜中学校長
- 2004年 定年退職された後、35フィートスloop艇「あさ風」で日本沿海を航海。

現在 〒791-3162 伊予郡松前町出作 44-1 に夫人とお住まい。日台交流に関する講演や興居島出身の土木技師・宮本武之輔に関する研究執筆活動などを精力的にこなされています。



愛媛日華親善協会

会長 蔵原一郎

〒790-0803 松山市東雲町 4-8 電話 089-941-0851



健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井美智子

〒790-0931 松山市西石井 1-3-30 090-8971-7721

<http://www.mezasukai.com/>